

平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	インターネット・ホットライン業務	担当部局庁	生活安全局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度～	担当課室	情報技術犯罪対策課	情報技術犯罪対策課長 四方 光				
会計区分	一般会計	施策名	7 情報セキュリティの確保					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	サイバー空間における国民の安心を確保するため、インターネット上の違法情報・有害情報に対する対策を効果的かつ効率的に推進し、サイバー空間の浄化に資する。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	一般のインターネット利用者等からインターネット上の違法情報・有害情報に関する通報を受理し、ガイドラインに基づいて分析を行い、警察庁に通報するとともに、プロバイダや電子掲示板の管理者、INHOPE(インターネット上の違法情報、有害情報への対応に当たる国際連絡組織。International Association of Internet Hotlinesの略。)等に削除を依頼する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	121	160	155	139	139	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	121	160	155	139	139	
	執行額		121	150	145			
	執行率(%)		100%	94%	94%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年	21年	22年	目標値 (年度)
	(成果目標) ネットワークを利用した犯罪被害の抑止 (参考指標) インターネット・ホットラインセンターが受理した 違法・有害情報件数(暦年)		成果実績	件	20,333	33,968	44,683	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年	21年	22年	23年度活動見込
	インターネット・ホットラインセンターが受理した 一般のインターネット利用者からの通報件数(暦 年)		活動実績 (当初見込 み)	件	135,126	130,586	175,956 (-) (-)	-
単位当たり コスト	824円 / 件数		算出根拠	平成22年度契約額144,981,220円 / 通報件数175,956件				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	人件費	112	112					
	物品借上費	27	27					
計	139	139						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 警察庁が直接外部委託したことから支出先を把握している。 2 見直しの余地 本事業はインターネット上の違法・有害情報対策を効果的かつ効率的に推進するためには有効であり、引き続き実施する必要がある。事業費圧縮のため、平成23年度より3年間の国庫債務負担行為により契約を行い、それによってIT機器のリースに伴う経費の削減を行った。 また、現在一般競争入札を行っており、今後にあっても引続き競争性の高い調達の実施に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 十分と認められる。 2 改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。 3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

警察庁
145百万円

(ホットライン業務を委託)



<人件費等>
【一般競争入札】

A.(財)インターネット協会
145百万円

(受託したホットライン
業務を実施)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.(財)インターネット協会			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	通報の受理・分析等	127			
	物品借上費	IT機器リース料	18			
	計		145	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)インターネット協会	ホットライン業務	145	1	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

「インターネット・ホットラインセンター」の運用状況 (平成22年1月～平成22年12月)



「インターネット・ホットラインセンター」で取り扱う 違法情報、有害情報について

違法情報

わいせつ物公然陳列（刑法第175条）
児童ポルノ公然陳列（児童ポルノ法第7条第4項）
売春周旋目的の誘引（売春防止法第6条2項第3号）
出会い系サイト規制法違反の禁止誘引行為（同法第6条）
薬物犯罪等の実行又は規制薬物（覚せい剤、麻薬、向精神薬、大麻、あへん及びけしがら）の濫用を、公然、あおり、又は唆す行為（麻薬特例法第9条）
規制薬物の広告（覚せい剤取締法第20条の2、麻薬及び向精神薬取締法第29条の2及び第50条の18、大麻取締法第4条第1項第4号）
預貯金通帳等の譲渡等の誘引（犯罪収益移転防止法第26条第4項）
携帯電話等の無断有償譲渡等の誘引（携帯電話不正利用防止法第23条）

有害情報

情報自体から、違法行為（けん銃等の譲渡等、爆発物の製造、児童ポルノの提供、公文書偽造、殺人、脅迫等）を直接的かつ明示的に請負・仲介・誘引等する情報
列挙する違法情報について、違法情報該当性が明らかであると判断することは困難であるが、その疑いが相当程度認められる情報
人を自殺に誘引・勧誘する情報（集団自殺の呼びかけ等）

平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	サイバーパトロール業務	担当部局庁	生活安全局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度～	担当課室	情報技術犯罪対策課	情報技術犯罪対策課長 四方 光				
会計区分	一般会計	施策名	7 情報セキュリティの確保					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	サイバー空間における国民の安心を確保するため、インターネット上の違法情報対策等を効率的かつ効果的に推進し、サイバー空間の浄化に資する。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	インターネット上の特定の違法情報の検索収集、違法情報のインターネット・ホットラインセンターへの通報、書き込み内容から18歳未満と判断される出会い系サイト利用者に対する警告メールの発信などを実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ■ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	27	40	39	34	37	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	27	40	39	34	37	
	執行額		15	29	24			
	執行率(%)		56%	73%	62%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年	21年	22年	目標値 (年度)
	(成果目標) ネットワークを利用した犯罪被害の抑止 (参考指標) サイバーパトロールからインターネット・ホットラインセンターへの通報件数(暦年、20年は10～12月分)		成果実績	件	1,493	10,858	8,807	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年	21年	22年	23年度活動見込
	巡回したサイト投稿数(暦年、21年から集計)		活動実績 (当初見込み)	件	-	527,007	796,989 (-)	- (-)
単位当たり コスト	30円 / 件		算出根拠	平成22年度契約額24,059,210円 / 巡回件数796,989件				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	人件費等	34	37	クローラの導入・開発費による増額				
	計	34	37					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 警察庁が直接外部委託したことから支出先を把握している。 2 見直しの余地 本事業は、違法・有害情報の監視・情報収集に有効であり、引き続き実施する必要がある。 また、現在一般競争を行っており、今後にあっても競争性の高い調達の実施に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 十分と認められる。 2 改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。 3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

警察庁
24百万円

(サイバーパトロール
業務を委託)



<人件費等>
【一般競争入札】

A. グロヴァレックス(株)
24百万円

(受託したサイバー
パトロール業務を実施)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.グロヴァレックス(株)			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費等	違法情報の検索収集・通報等	24			
	計		24	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

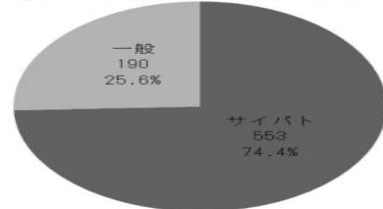
A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	グローヴァレックス(株)	サイバーバトロール業務	24	4	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

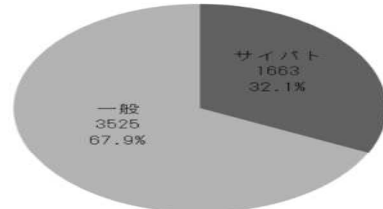
サイバーパトロール業務の外部委託

IHC 情報に占めるサイバーパトロール通報の割合

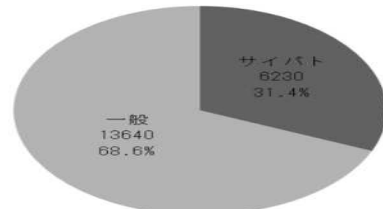
出会い系サイト規制法の禁止誘引行為



児童ポルノ公然陳列



わいせつ物公然陳列



【闇サイトの例】

[82]07/10/23 02:04
 匿名[復讐代行します]
 名前[うらみ]
 恨み・むかつき・憎しみなど、解決します。
 ★殺害依頼
 ★報復依頼
 くらしてやりたがいりしるのが嫌な方、簡単なイタズラから殺害まで。

絶対に依頼者がいしることはありません
 [匿名]にメール下さい。

internet

違法情報等の収集

クローラ

サイバーパトロール業務受託者



警告メール送信

出会い系サイト
利用の児童

通報



インターネット・
ホットラインセンター

○委託業務の内容

- 1 対象とする情報
 - 出会い系サイト内の禁止誘引行為
 - 登録制サイト内のわいせつ・児童ポルノ情報
 - 悪質かつ緊急に対処すべき情報
- 2 ホットラインセンターへの通報
- 3 出会い系サイト利用の児童に対する警告メールの送信

一般からの通報が
期待できない情報
を対象

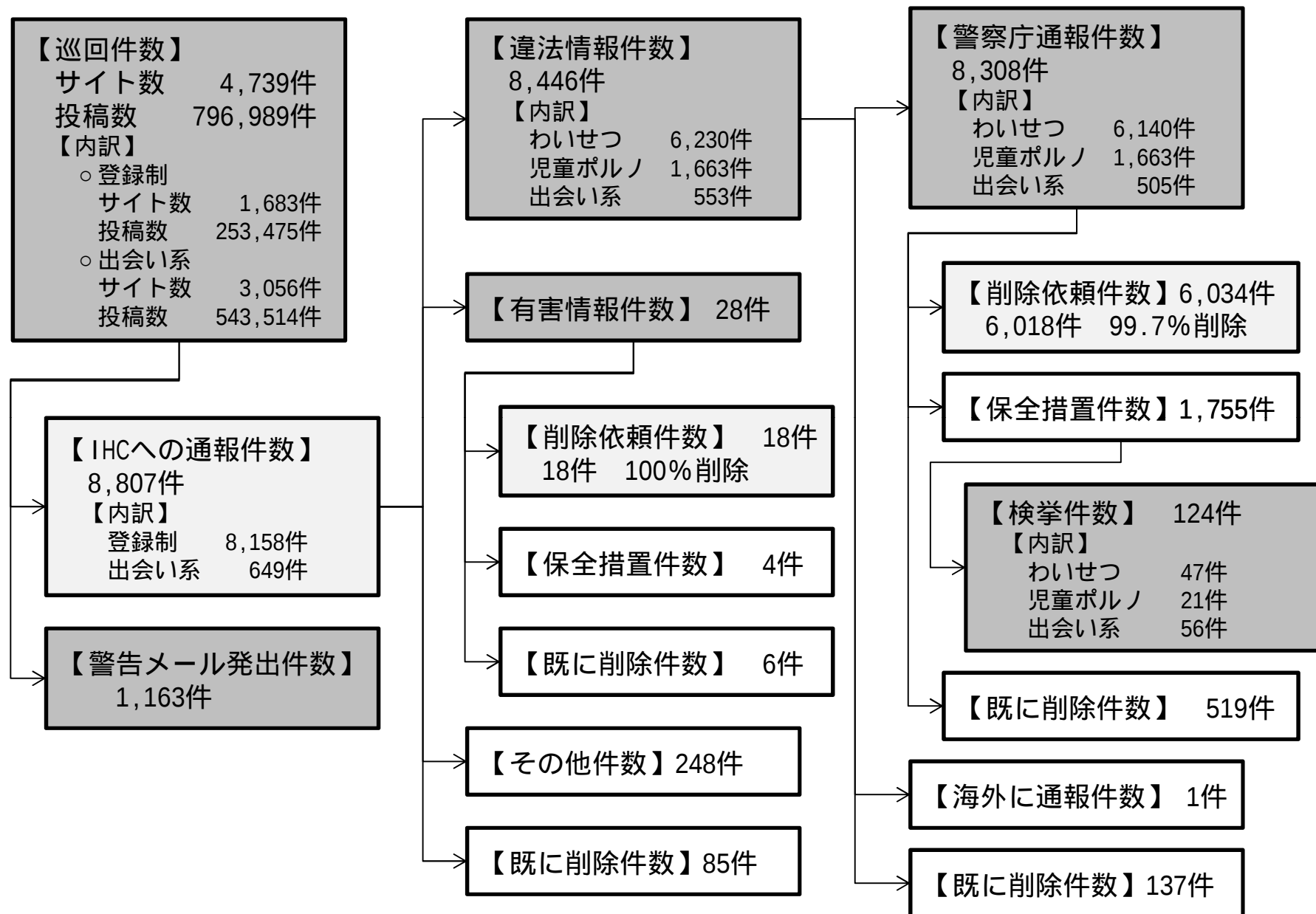
【業務体制】

専従 10 名体制

(内訳)

管理者	1 名
オペレータ	8 名
連絡・統計	1 名

サイバーパトロール業務の運用状況(H22)



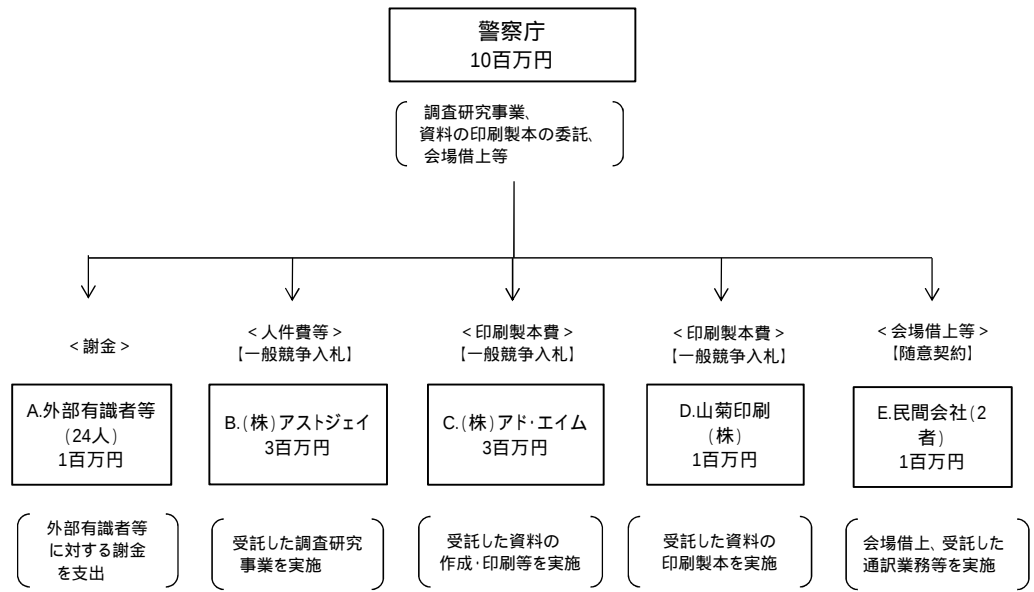
平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	アクセス制御機能に関する技術の研究開発の状況等に関する調査等		担当部局庁	生活安全局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度～		担当課室	情報技術犯罪対策課		情報技術犯罪対策課長 四方 光		
会計区分	一般会計		施策名	7 情報セキュリティの確保				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	不正アクセス行為の禁止等に関する法律第7条		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	電気通信に関する秩序の維持を図るため、不正アクセス行為からの防御に関する啓発及び知識の普及に努める。また、情報通信ネットワークの安全性及び信頼性を確保し、国民がこれを安心して利用することが出来るよう、効果的な情報セキュリティ対策を進める。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	アクセス制御機能を有する特定電子計算機の不正アクセス行為からの防御に資するため、不正アクセス禁止法で毎年少なくとも1回、不正アクセス行為の発生状況及びアクセス制御機能に関する技術の研究開発の状況を公表しなければならないこととされている。また、効果的な情報セキュリティ対策を推進するため、総合セキュリティ対策会議を開催し、産業界等と政府機関との連携の在り方について検討を行い、広い分野から多くの有識者の参加を得て活発な議論が行われ、その結果として報告書を取りまとめている。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	47	15	14	13	12	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	47	15	14	13	12	
	執行額		34	10	10			
	執行率(%)		72%	67%	71%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 不正アクセス行為が行われにくい環境の構築及び不正アクセス行為からの防御に関する啓発 (参考指標) 調査における調査票回収数		成果実績	件	775	930	841	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	アクセス制御機能に関する技術の研究開発の状況等に関する調査の調査票件数		活動実績 (当初見込み)	件	3,000	3,000	3,000 (-)	- (-)
単位当たりコスト	9,661千円 / 年		算出根拠	年度執行額				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	印刷製本費	5	5	隔年開催している外国とのワーキンググループの経費による増額				
	人件費	5	4					
	謝金	3	3					
計	13	12						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 それぞれの事業について警察庁が直接契約を行っていることから、支出先を把握している。 2 見直しの余地 本案件については、市民生活の安全と平穏、情報セキュリティを確保するという生活安全警察活動の目的を達成するために必要であることから、引続き実施する。 また、現在一般競争入札を行っており、今後にあっても競争性の高い調達の実施に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 十分と認められる。 2 改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。 3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)	A.外部有識者等			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	謝金	委員等謝金	1			
	計		1	計		0
	B.(株)アストジェイ			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費等	企画調整・調査票作成・集計・報告書 作成	3			
	計		3	計		0
	C.(株)アド・エイム			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	印刷製本費	印刷製本	3			
	計		3	計		0
	D.山菊印刷(株)			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	印刷製本費	企画調整・調査票作成・集計・報告書 作成	1			
	計		1	計		0

支出先上位10者リスト

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アストジェイ	アクセス制御機能に関する技術の研究開発の状況等に関する調査等	3	6	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アド・エイム	出会い系サイト等利用犯罪被害防止対策資料作成・印刷	3	4	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	山菊印刷(株)	総合セキュリティ対策会議報告書等印刷	1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					